

ワークショップ「医療対応分野」

	医療従事者	医療の提供	情報提供・伝達	事前の取組や枠組み	患者と導線を分ける
課題	医師も看護師も不足	病床の確保	確実・迅速な伝達	マニュアルがない	薬局
	専門医・専門スタッフ？		情報弱者の存在	隔離や解除の基準	診察室
	多施設連携の充実	患者用器材の管理方法・情報把握	TVなどマスコミの上手な活用	トリアージ	隔離の基準
	発熱外来での不要な接触の防止	緊急診療場所の前もつての取り決め		産科・透析などの特殊患者への対応	
	引退した医療従事者の採用	北国の問題。寒い、独自の工夫が必要			
アイデア	ドライブスルー、医師がワゴン車で診察	建設業者やレンタル会社とあらかじめプレハブなどを含めた調達を契約	TV等を利用した政府・行政の情報発信	薬処方を薬局で処方できる特例措置	インフルエンザ診断キットを患者に配布して予備診断

ワークショップ「社会対応分野」

教育機関

1. 情報管理・伝達
2. 教育

家庭

1. 家庭内の役割分担をあらかじめ相談
2. 子供が家庭に待機。どうする？

家族: 子供に留守番(大きい子) 小さい子(親戚も含めた家族全体で対応、町内会)

事業者: シフト制、ベビーシッターの派遣

県: 教育指導の強化、事業者の休業補償、ベビーシッター確保の資金援助

販売業務

1. 人が集中しないような工夫(地区別時間割り当てなど、窓口販売、移動販売)
2. ネット販売の充実

犯罪対策